

計画推進評価部会（平成30年10月17日開催）における意見と県の対応

NO	委員名	頁※	項目名※	意見	対応
点検報告書（素案）					
1	矢島委員	12	イ 国際化と情報化 (ウ) 情報化の動き	「ICTの高度化に伴い…実現されつつあります。」については、どこで、何に対して実現されつつあるのか、よく分からないので、明確にする必要がある。 県の事業や運営においてICT化がどれだけ進んでいるのかというところは非常に重要な問題である。その辺りが明確になるように示す必要がある。	点検報告書の記載を修正・追加しました。 (12ページ) (ウ) 情報化の動き 点検報告書に記載しております。 (139ページ) 5 ぐらしと行政の情報化の推進
2	矢島委員	82	PJ13「男女共同参画」	数値目標①の分析のところに書かれている「女性委員を輩出することが難しい分野の審議会がある」ということは、ずっと国でも課題としているところであり、職務指定のある団体などで、職務指定の必要性の見直しなどをしていく必要があるということが明確になっている。そうした取り組みが進んでいるのかということについて、検証する必要がある。	点検報告書の記載を修正・追加しました。 (82ページ) PJ13「男女共同参画」 数値目標の達成状況 今後に向けた検討事項
3	矢島委員	83	PJ13「男女共同参画」	数値目標②の分析のところに書かれている「女性は男性よりも勤続年数が短い」ということが女性の管理職・登用率が低いことの直接的な原因ではないということがいまは明確になっている。近年の取組みの中で、なぜ神奈川県で特に女性の管理職が増えていかないのか、その背景を検証する必要がある。	点検報告書の記載を修正・追加しました。 (83ページ) PJ13「男女共同参画」 数値目標の達成状況
4	矢島委員	154	SDGs	「ジェンダー平等を実現しよう」という項目で「雇用」に○がついていないというのは非常に違和感を覚える。実際には施策が関わっているのではないかと思う。表現については、工夫する必要がある。	点検報告書の記載を修正・追加しました。 (154ページ) 【表1】かながわグランドデザインとSDGs（持続可能な開発目標）の関係
5	岩田（知）委員	全体	全体	「7つの政策分野の基本方向」に書かれている課題などに対する取り組みや成果が確認できる表があると良い。全体像を示す必要がある。	今後の参考とさせていただきます。

NO	委員名	頁※	項目名※	意見	対応
6	小池委員	17	オ 暮らしの様々な課題	県内独居の増加を背景とした孤独死の現状、子どもたちの健康・非行の状況を背景とした子ども食堂や学童クラブの設置数、参加者数、あるいは高齢者の孤独や孤立を予防していくための町内会の参加状況などの記載が加わると良い。ソーシャルネットワークの項目を設ける必要がある。	点検報告書の記載を修正・追加しました。 (18ページ) (オ) 地域や家庭の変化
7	小池委員	34	PJ1「未病」	「プロジェクトをとりまく状況」として、健康寿命云々の記述はあるが、具体的な神奈川県内の健康寿命の記載がない。神奈川県内の健康寿命は、男性は全国16位と全国平均を上回っているが、女性は全国平均を下回って31位になっている。具体的なデータを掲載する必要がある。	点検報告書の記載を修正・追加しました。 (34ページ) PJ1「未病」プロジェクトをとりまく状況
8	能登委員	29	(イ) 7つの政策分野の基本方向の検証 (7) 県土・まちづくり	「空き家の増加」とあるが、現在問題となっている所有者不明の土地の問題についても付け加える必要がある。	点検報告書の記載を修正・追加しました。 (29ページ) (7) 県土・まちづくり
9	能登委員	82	PJ13「男女共同参画」	「促進」とか「活躍」という言葉を使用することで、活躍していないとされているように感じる人もいます。表現には、十分注意する必要があります。	表現を再度、確認しました。 今後の参考とさせていただきます。
10	平田委員	26 27	(ア) 政策展開の基本的視点の検証 (4) 地域に活力を生み出します (5) 少子化、高齢化への対応を進めます (6) 豊かさの質的充実を支援します	「行ってみたい」と思わせる魅力が乏しい。外国人にとっても魅力があり、活力を生み出す手段を検討する必要があります。	今後の参考とさせていただきます。
11	原委員	30	(ウ) 地域づくりの基本方向の検証	5つの地域政策圏は、同じ圏域でも市町によって課題が異なる。圏域内の違いをどういう風にとらえるのか、記載を工夫する必要がある。	点検報告書の記載を修正・追加しました。 (30ページ) 地域政策圏の動向
12	岩田(美)委員	19 20	オ 暮らしの様々な課題 (キ) 課題を抱える子どもたち (ケ) 若者をめぐる状況	子どもの貧困率や若年無業者に関するデータは、全国のデータのみでなく、県のデータも出せるものについては示す必要がある。	点検報告書の記載を修正・追加しました。 (20ページ) (コ) 若者をめぐる状況

NO	委員名	頁※	項目名※	意見	対応
13	牛山部会長	22 27	カ 地方分権改革の進展 (8) 地域主権を実現し、広域連携の強化など広域自治体としての責任を果たします	地域主権と地方分権という言葉の使い方について整理する必要がある。	点検報告書の記載を修正・追加しました。 (27ページ) (8) 地域主権を実現し、広域連携の強化など広域自治体としての責任を果たします
14	牛山部会長	22	カ 地方分権改革の進展	県の役割として、市町村への補完機能とか支援機能という点について、人口減少等の厳しい市町村とかへの補完・支援等という観点からも記載する必要がある。	点検報告書の記載を修正・追加しました。 (22ページ) (イ) 市町村の行財政基盤の強化
15	内田副部会長	48	PJ5「エネルギー」	神奈川は再生可能エネルギーとしては、水力発電が丹沢山塊の裏にあり、結構大きな発電量があるという現状認識のデータも載せる必要がある。	点検報告書の記載を修正・追加しました。 (15ページ) (ア) エネルギー政策の転換 (50ページ) PJ5「エネルギー」プロジェクトをとりまく状況
16	内田副部会長	48	PJ5「エネルギー」	電気自動車の普及が全国トップだということも、県民に示す必要がある。	点検報告書の記載を修正・追加しました。 (50ページ) PJ5「エネルギー」プロジェクトをとりまく状況
17	内田副部会長	全体	全体	外国の方に向けての広報については、今後も工夫して進めていく必要がある。	今後の参考とさせていただきます。
18	岩田(知)委員	全体	全体	県のホームページを真剣に見る人は、県に関わりがある人に限られてしまう。一般の県民の目に留まる方法で、広報をしていく必要がある。	今後の参考とさせていただきます。
19	朱委員	60 108	PJ8「観光」 PJ19「多文化共生」	外国の方が来てくれた後の対応について、県がどのようにサポートしていくのか、在住している外国人の方に対するサポートも含めて、今後も取り組んでいく必要がある。	点検報告書に記載しております。 (63ページ) PJ8「観光」 今後に向けた検討事項 (111ページ) PJ19「多文化共生」 今後に向けた検討事項
20	内田副部会長	152	SGDs	今後改めて、更に課題認識をもって対応していくことを各部署が認識していくことで、県庁全体としてトータルで取り組む1つのきっかけになる。こういう方向で、さらに進める必要がある。	今後の参考とさせていただきます。

※平成30年10月17日開催の計画推進評価部会における資料の頁、項目名